

国に対して「30人以下学級の推進を求める意見書」の提出を求める陳情

1. 陳情趣旨

圧倒的世論のもとで、2011年度からスタートした少人数学級は、ストップしたままです。

コロナ禍のもとで、3密を避けて、子どもを感染から守り、ゆったりとした空間で、一人ひとりに目と指導がゆきわたる授業で、子どもの学習を保障する事が求められます。分散登校中の少人数授業で、子どもも先生もそれを実感しました。

中央教育審議会の特別部会は、

「学びの遅れや、子どものストレスに対応するきめ細かな指導体制を実現する上で、コロナをめぐって現在の学級編成では、密接・密集が回避できない」ことが問題となっており、少人数学級の実現が求められるとしています。

全国知事会会長、全国市長会会長・全国町村長会会長も少人数学級の実施を求めています。

早急に30人学級、その後速やかに20人程度の学級への移行を実現しましょう。

萩生田光一文部科学相は、テレビ番組で、

「思い切って1クラス30人をめざしたい」

と発言しました。その理由として、

「(教室内に)一定の通路をとらなければならない」

とも述べました。

コロナから、次代を担う子どもたちのいのちを守り、すこやかに育むための教育予算を「財政事情」を口実に削減することは許されません。

よって、船橋市議会として、政府ならびに国会に対し、地方自治法第99条の規定に基づき、30人以下学級を推進することを強く要望する意見書の提出をお願いします。

2. 陳情事項

(1) 国に、「30人以下学級の推進を求める意見書」を提出していただきたいこと。

以上